



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No. 186

2019年11月27日

九州支部長 T.Y

日に日に秋が深まり鮮やかな紅葉の季節となりました。会員の皆さま方におかれましてはお元気で過ごしてはいかがでしょうか？日頃のサーバス活動へのご理解、ご協力に感謝します。

さて、先日、温泉と紅葉を楽しみに別府に1泊で行って来ました。別府と言えばほんの数か月前までは韓国からの旅行者であふれていましたが、日韓関係の悪化で、私たちが訪れた施設やホテルでは一組も韓国からのお客さんを見かけませんでした。サーバス会員の私たちは、こんな時だからこそ韓国の会員さんとも今まで以上に交流をしていきたいと強く思いました。

福岡県の会員である S.K さんが7月よりサーバス旅行も含めいろいろな国へ旅行されています。訪れた国はイラン、アゼルバイジャン、ジョージア、フランス、ブラジル、パラグアイ、ペルー、メキシコ、コロンビア、キューバなど。現地でのエピソードを送っていただきました。イランが私のイメージと全く違っていたのにはびっくりでした。それらを「サーバス旅行レポート」に載せていますのでぜひご覧ください。

また、ドイツサーバスからのお誘いで日本サーバスから10名が11月29日から12月10日までドイツを訪問します。ルール地方、ライプツヒヒ、ハンブルグそしてフランクフルトの都市を回り、会員宅でホームステイをします。その報告は次回の会報で行いたいと思います。

このようにいろいろな国に行ったり、又いろいろな国の方を受け入れたりして交流を図ることができるサーバスは素晴らしいと思います。これからもサーバスを通じて国の内外のいろいろな方と交流をしていきたいと思います。

サーバス九州支部会報 186号 (2019年11月号) をお届けします。

掲載している内容は以下の通りです

1. サーバス旅行レポート
2. 来年度会費納入のお願い
3. 支部会員情報
4. 支部からのお願い
5. 支部連絡先 (常掲)

1. サーバス旅行レポート

(1) イラン、ジョージア、フランスへの旅

福岡県 S.K

1) イランでのサーバスミーティングに飛び入り参加

先月（6月）の話になるのですが、イランのサーバス 70 周年ミーティングに参加してきました。イランはアクティブなサーバス会員の多い国の 1 つということで、インターネットを活用して若い世代も増えているそうです。

インターネットのチャットで、サーバスのトップの方と話して、色々意見を交換していました。印象に残ったのが、「イランは世界から攻撃的で悪い印象を持たれているけど、国内はとても平和で争いもない。サーバスの活動を通して、世界に自分達の国のよさを発信して、世界からの誤解を解きたい」というお話でした。

私も、来るまでに持っていた印象と、実際に入国してからの印象は全く違いました。イランの人は、観光客へのおもてなし精神が大です。信号待ちで、急に横に 2 人乗りのバイクが止まったかと思ったら、アイスクリームをくれて（たまたま 3 つ持っていたのでしょうか？）3 人で食べながら、暑いね〜などと話をして去って行ったり、喫茶店



に入ってコーヒーを頼んで、お店の人と言葉は通じないながらもお話を楽しんでいました。会計の時に、あなたは外国から来たお客だからお金はいらないよーなどと言われたり.....

そして、ヨーロッパなど先進国よりも安全です。モノを盗られるかもしれないという心配が、全くありませんでした。観光資源も豊富で物価も安い。そして、インフラも整っていて、街にも活気があります。きっと、経済制裁があっても自国の資源が豊富だからでしょう。

イラン旅行、おススメです。

2) ジョージア

2015 年まではグルジアと呼ばれていた、南コーカサスにある自然豊かな国です。旅行中に知り合った青年から、友達がブドウ農園をしていて収穫をするから手伝ってこないかというメールをもらい、参加することにしました。ワインの発祥はフランスやイタリアではなく、実はジョージアなのです。その歴史はなんと 8000 年とも言われ、多くのワイナリーでは床下にある素焼きの壺に流し入れて発酵させる伝統的な製法で作っています。

前日の夜にファームに到着し、宴をして翌日早朝にブドウ摘みをしました。日光カンカン照りの中大変な作業でした。こうして手間暇かけて美味しい物ができあがるのです。

画像の説明：

ワインの空瓶で作った照明。（右）ワインはこの壺でつくります。瓶を寝かせて置くと、不純物が下に溜まります。蓋を開け不純物を出し、また置くのを何度も繰り返します。



（下）宴の食事、ソーセージや野菜、豆をトマトソースで煮込んでいます。とてもおいしかった。みんな協力してブドウ摘みを手伝います。カンカン照りの中一房ずつブドウをハサミで摘みます。



3) フランス

パリで、サーバス会員 Agnes の I さん一家にお世話になりました。

彼女の夫 C, 21 才の娘さん J, 17 才の息子さん G の 4 人で暮らしています。お庭のある素敵なおうちで、到着した日は夕食をごちそうになりました。

まずはお腹慣らしにワインとおつまみをいただきました。お食事がでてきたときには別のワインを開けていただきました。さすがはフランス、両方ともおいしかった。（表現力が乏しくてすみません）食事中的会話も弾みます。英語で話してくださったのですが、わからない単語があるとその場で父親が調べ息子たちに説明するという、まさに理想的なご家族でした。

日中は共働きで仕事に出ているのですが、子



供たちは夏休み中でした。二人で昼食をつくってくれるという話になりました。試行錯誤しつつも初めての料理をつくって頂いてとても感動しました。外のデッキで食べる昼食はまた格別でした。兄弟も親子も仲がよく信頼関係があるような、こんな家庭が日本でもっと沢山増えたらいいのにな～と思いました。未婚な私が言うのも何ですが。

(2) 中欧サーバス旅行

長崎県 M. M
O. T

2019年の3月、チェコサーバスからミーティングの案内を受け取りました。中欧への旅行は前々から、機会があったら・・・と考えていたこともあって、気持ちが参加に強く傾きました。元同僚で会員である友人に声をかけたら同意していただき、今回の実行の運びとなりました。私にとっては3週間余の旅行は久しぶりで、体力的に大丈夫かな？という不安がありました。どうやら毎日を元気に歩き通せました。好天に恵まれたこと、多くの素晴らしい方々



にお会いできたこと、「初体験」や「初めて知った～」「懐かしい～」等の体験がたくさんあったこと等で満足感の高い旅行になりました。旅行の思いつきから実行終了まで約半年、長い「関わり」でしたが、どの瞬間もある種のワクワク感があり、これは脳を活性化させているのでは？という安心感(?)もあって全く苦痛ではなかったことが大きなよろこびです。

同行のM会員と一緒に「中欧サーバス旅行」報告を行います。

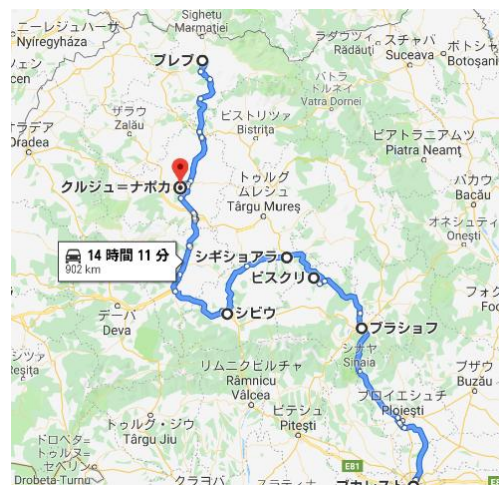
旅行の行程と交通手段は以下の通りです。

いろいろな方のアドバイスを受けて、何回も修正を加えながら作成しました。

いろいろな「ハプニング」はありましたが、旅はほぼ、計画通りに実施できました。

ハプニングは「旅の小話」で、機会があったときにご披露します。

1. 2019年9月17日～19日 チェコ共和国へ。福岡⇄インチョン⇄プラハは航空機利用。プラハでは緒方宅にステイされたことがあるプラハに里帰り中のご夫妻に、空港出迎えから次の地点への送り届けまで、2泊3日お世話いただき、恐縮しました。
2. 9月19日～22日 チェコ共和国チェスキークルムロフでのサーバスミーティングに参加（参加者60数名）。バルタバ川（ドイツ語ではモルダウ川）筏下りや街散策、ハーブミニコンサート、



国際会議スライド投影、近所の古い教会訪問等を行いました。過去の会合で出会った方やホストした方など顔見知りは何人もあり再会を喜びあいました。

3. 9月22日～24日 オーストリアのウィーンへ。

ミーティング会場からオーストリアのリンツまではミーティング参加者の自家用車に同乗させていただきました。リンツからウィーンまでは列車移動。ホストは学校の先生の奥さんと宇宙研究者のご夫妻。

4. 9月24日～25日 スロバキアのブラチスラバ（首都）へ。ウィーン→ブラチスラバはドナウ川をクルージング。ミーティング参加者夫妻がホストでした。

5. 9月25日～27日 ハンガリーのブダペストへ。Flix バスで入国。快適でした。

ホストにはバスステーション到着から出国空港まで、日中ガイドも含めて非常にお世話になりました。

6. 9月27日～30日 ルーマニアのブカレストへ。ブダペストからブカレストへは航空機利用。ここではお言葉に甘えて3泊もお世話になりました。

7. 9月30日～10月6日 ルーマニア、トランシルバニア地方とマラムレシュ地方5泊6日の guided tour。今回のハイライトです。サーバス旅行ではなく、専用車で主要箇所を英語ガイドと回る旅です。ガイドが5泊6日スルーについてくれ、宿と朝食、各地の入場料が含まれていました。費用が少々高額だと思いましたが、何でも自由に質問できる訓練されたガイドの存在は旅をとて充実したものにしてくれました。その国の置かれている状況や歴史、文化、習慣等が学べて満足感があります。

8. 10月6日～7日 再びチェコのプラハへ。ルーマニア最終地点クルジュ・ナポカからプラハへは航空機で移動しました。 (O 記)

It's a small world!

サーバス先輩から、チェコのサーバスミーティングに参加し、ついでに一緒に中央ヨーロッパを旅しないか、との誘いを受けました。「チェコのプラハはとてもきれい」と聞いていたので、またとない機会だと思い、同行させていただくことにしました。しかし、中欧は初めてで、国名と首都、地図上の位置すらほとんど知識もなく、まずは、地図上で地名と旅行ルートを確認するところから始めた今回の旅でした。また、今年サーバス入会2年目で、九州サーバスでのグループ旅行やトラベラーの host は経験していたものの、個人的なサーバス旅行は今回が初めての体験です。旅の計画の立て方から、交通手段や host との連携など、いろいろ教えていただきながら、本当に充実した忘れられない3週間の旅となりました。

チェコのサーバスミーティングに加え、今回の旅は大きく2つに分けられます。前半は、host を訪ねるサーバス旅行です。旅行全体のお世話を先輩にいただいたので、host 関係は自分の担当とし、初めての host request のメール送信から取り掛かりました。メールを介してではありませんが、準備段階から、サーバス旅行のワクワク感を実感で



きました。

現地では、空港や港で、手を振りながら初対面とは思えない出会いがあったり、電車を間違えたり、切符購入の段階から戸惑いながら、やっとの思いで host 宅にたどり着いたり…。いずれにしても、異国の地で、温かく出迎えてくれる host との出会いは最高です。これぞサーバス！日中の活動についても、観光地の歴史的背景など詳しいガイドまでしながら一緒に行動してくれる host もいれば、前日に地図などでお薦めの観光地や情報を提供していただき、自分たちで散策したり…。それぞれにいい思い出ができました。

二人がそれぞれに用意した日本からのお土産（スーパーとたためるエコバッグ、手作り着物タペストリーなど）も喜んでいただきました。2件の host 宅で準備した sushi dinner（米 1 合分の巻きずしと 1 合分のちらし寿司、和風吸い物、野菜サラダ）は好評で、話も盛り上がりました。



後半は、英語ガイドの運転する車で、ルーマニア内を北上する旅です。ブカレストの host 宅前から出発し、ブラショフ、ビスクリ、シギショアラ、シビウ、ブレブ、ウクライナの家々が見える国境の近くまで北上し、最後はルーマニア第二の都市クルジュナポカに戻り

ました。北上するにつれ、持参した観光ガイドブックではあまり紹介されていないところも多く、途中日本人観光客と出会うことも全くと言っていいほどありませんでした。

スルーでついているガイドとおしゃべりを楽しみ、ゆっくりと時間が流れる中、local people を訪問して実際の生活を垣間見ることも…。特に、UNESCO 世界遺産に指定されているビスクリ村での日暮れ時、ヤギや牛などが長い列をなして、人間に先導されることなく、それぞれに帰路につく光景は圧巻でした。マラムレシュのブレブ村には 2 日間滞在しました。村には警察不在で、ルーマニアの農村原風景がそのまま残っており、食卓を飾るチーズ、ハム、ジャム、はちみつ、バター、ワイン…すべてが自家製です。りんごに洋ナシ、プラム、ぶどう、そしてくるみと、散歩しながら、味見のし放題。伝統的な木造家屋がほとんどで、horse & cart（荷馬車）が普通に行き交っています。私たちが失いつつある大切なものを、改めて考えさせられました。



最後に、旅で経験した miracle を紹介して、報告を締めくくりたいと思います。最初のチェコプラハの host 夫妻は実際は米国在住で、たまたま里帰りでプラハの自宅に滞在中にホストしていただいていたのですが、観光を終えて、帰路につく自家用車の中でのことです。アメリカに来たことがあるか、どこの地域か、と会話をする中で、私が 30 年以上も前にサンフランシスコ郊外で 1 ヶ月のホームステイ経験があることを伝えました。そのホームステイ先の住所と今回の host 夫妻の現住所が何と同一町というではありませんか！ host mother/father の名前は…と話が進み、もちろん顔見知りではありませんでしたが、ネットで検索し、早速、帰宅するや否や、その 30 年以上も前の host mother と電話がつながったのです。Unbelievable!! It's a small

world! 世界がいかに狭いかを痛感させられた、興奮の瞬間でした。

(M 記)

2. 来年度会費納入のお願い

サーバスの会計は1月から12月までが1年です。

1月31日までに来年度の会費3,000円を納めて頂きますようお願い致します。

振込先は下に記しています。

3. 支部会員情報

新入会員 : 沖縄県那覇市 K. M.さん

支部会員数: 45家族、 福岡県 12名; 佐賀県 5名; 長崎県 7名; 熊本県 5名
大分県 11名; 宮崎県 3名; 鹿児島県 1名; 沖縄県 1名

4. 支部からのお願い

(1) レポートについて

サーバス旅行や、トラベラーの受け入れをされた場合はその時の写真やレポート(簡単なコメントでも結構です)をお送りくださるようお願い致します。会報に掲載させていただきます。

(2) トラベラー受け入れ報告

トラベラーを受け入れた場合はその都度日本サーバスのホームページ上の「トラベラー受け入れ報告」より入力ご報告ください。入力報告の内容は自動的にメールでご自分の元に届きます。皆さまのご協力により、去年報告をされた方はほぼ全員ホームページ上で報告でした。今後ともよろしくお願ひ致します。

5. 支部連絡先(常掲)

発行日: 2019年11月27日(186号)

発行者: サーバス九州支部長

T. Y

【会費、認定料等の送金は以下にお願いします】

- 郵便口座をお持ちでしたらその口座からサーバス九州事務局の郵便口座へは送金手数料無料で振り込みできます。
 - 銀行から振り込む場合 送金手数料は有料です。
- なお、口座番号、名称などについては日本サーバス Web ページの会員専用の九州支部会報をご参照ください。

◎ 会計担当: H.S